

令和元年度 第2回 学校関係者評価委員会議事録【こども環境科・介護環境科】

日 時 令和2年2月20日（木）16:00～17:15

場 所 学校法人 ほっかいどう学院 くしろせんもん学校 3階 第7講義室

出席委員 北構 和代 （釧路市私立保育園連合会副会長・治水どんぐりの家保育園 園長）
山本 綾子 （釧路市私立幼稚園連合会理事、会計・釧路聖母幼稚園 園長）
小野 信一 （北海道社会福祉協議会 釧路地区事務所 所長）
伊東 義光 （北海道介護福祉士会釧路支部 支部長
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長）
住尾 盛 （釧路市PTA連合会 顧問・昭和中央2丁目町内会 会長）

出席職員 杉村 典史 （くしろせんもん学校 校長）
渡邊 千華子 （くしろせんもん学校 介護環境科 学科長）
氏原 陽子 （くしろせんもん学校 こども環境科 学科長）
田仲 京子 （くしろせんもん学校 こども環境科 教員）
伊東 利恵 （くしろせんもん学校 介護環境科 教員）
若生 みゆき （くしろせんもん学校 事務主任）

欠席者 戸田 竜也 （北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授）

配付資料 ①レジュメ（委員名簿）
②令和元年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録
③令和元年度 学校自己評価の結果
④令和元年度 学校関係者評価のための各種資料
（学校運営計画・学校案内・募集要項・学則・学生のしおり等）

1. 開会（司会：田仲）

2. 開会にあたって

- （1）挨拶（杉村）
- （2）今年度の委員と学校職員の紹介
- （3）司会者の決定（住尾委員選出）

3. 次第（司会：住尾委員）

- （1）令和元年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録の確認（若生） 資料②参照
- （2）令和元年度の学校関係者評価結果について 資料③参照

- ①報告（学校から）
- ②報告に対する質疑応答
- ③意見交換

伊東委員

他校の外国人留学生の卒業後の動向を知りたい。

学校側回答（杉村）

卒業後、現場で働いているとのこと。

伊東委員

将来的に自国へ帰ることもあるのか。

学校側回答（渡邊）

帰国してしまうこともある。技能実習にも種類があり、外国人が入ってくる入り口がたくさんある。仲介業者選定などの見極めも重要になってくる。

(杉村)

経営なども、外国人留学生がいないと成り立たない状況の学校も多数あるのではないかと思います。

小野委員

学校運営について、ティール運営とはなにか。

学校側回答 (杉村)

上司がマネジメントをしなくても、目的のために進化できる組織のこと。職員一人一人が自分の役割に対して、それぞれのタイミングや考えで行動していくことにより、組織の活性化につながると考えている。IT企業や医療関係での成功例はあるが、学校でのティール運営（組織）は前例がないらしい。

住尾委員

いつから実施しているのか。

学校側回答 (渡邊)

今年度から。

伊東委員

情報システム化の評価が低いが、業務の簡略化など改善できれば解決することもあるのではと思う。

小野委員

連携企業が増えたが、法人との契約ではなく、各施設との連携なのは何故か。また、新規開拓も含めてどんどん連携を強くしてもらいたい。

学校側回答 (氏原)

その企業によって、契約形態が違う。今回増えた事業所は、関りがあったため契約に結び付いた。

小野委員

創立50周年は大きくアピールできるチャンス。何か手伝えることがあればと思う。学生寮はできないか。空物件を借り、寮母を雇用するなどして実現できれば、学生募集のアピールになると思う。また、学校設備について、最低限のところは直してもらいたい。社会貢献については今後も継続してもらいたい。

伊東委員

社会貢献についてはもう少し高く評価して良いと思う。

北構委員

学生支援について、実習で緊張しているが、巡回の教員が来園した時のほっとした様子などを見ると、学生と教員の関係がとても良いことを感じる。安心して学校生活を過ごせていることがわかる。

小野委員

運営・経営の部分は意見が通りやすくする必要があると思う。経営と現場が解離してしまうと社会的立場にある学校としては、良くないと感じる。

北構委員

インターンシップで小中学生が来園したときにPRすることも可能。くしろせんもん学校の魅力をアピールしていきたいと思う。

学校側回答 (杉村)

学生数減少で、経営的に余裕がないことは理解しているが、小規模校だからこそできることを考え、取り組みたいと思う。校舎も古いが、綺麗に使用していることを外部の方に見てもらいたい。

4. 閉会 (司会：田仲)

(1) 挨拶 (校長)

以上
(記録：若生)